

施策評価表

施策分野	5-1 都市景観	
めざすまちの姿	○北部地域の田園・農村景観、山並みを背景とした自然景観、文化を感じる街並み景観が調和した宝塚らしさを感じる景観が保たれ、魅力を増している。	
施策	(1)「宝塚らしさを感じる景観」の魅力の向上	
総合戦略での位置付け	○基本目標 2 子どもがいきいきと育ち、子育て世代に選ばれるまちづくり	－

施策の方向性	○住民主体のまちづくりや情報の発信により、市民意識の向上を図ります ○新たな土地利用において良好な景観の形成を誘導します ○自然や歴史・文化などにより培われた良好な景観の維持保全を推進します ○新たな制度設計やガイドラインについて検討します ○屋外広告物の規制・誘導を行い、違反広告物の減少を目指します	
施策を構成する主な事務事業	都市景観保全・創出事業	
実施した主要内容	宝塚らしい良好な景観を維持・形成するため、一定規模以上の建築物の新築等の届出、特定大規模の開発における個別協議、景観啓発活動、屋外広告物の許可・簡易除却などを実施した。	

成果指標	①	指標名								めざす方向性
		「市域全体の景観保全への市の取組が十分できている又はできている」と回答した市民の割合								↑
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9
		%	20 (H30年度)	目標	－	22	－	－	－	－
				実績	－	28.3	－			
		達成状況とその理由	－							
	②	指標名								めざす方向性
		景観啓発等について協働で取組んだ市民団体数								↑
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9
		団体	－	目標	13	15	15	15	15	15
				実績	13	15	15			
		達成状況とその理由	達成 過年度きずなづくり推進事業によって採択された団体と、冊子を活用した情報発信による景観啓発に取り組んだ。							
	③	指標名								めざす方向性
		「宝塚らしさを感じる魅力的な景観が保たれていると思う」と回答した市民の割合								↑
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9
		%	－	目標	－	15	－	－	－	－
				実績	－	20.9	－			
		達成状況とその理由	－							
	④	指標名								めざす方向性
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9
				目標						
				実績						
		達成状況とその理由								

担当部局 評価	A	評価の 理由	指標②は、過年度きずなづくり推進事業によって採択された団体と、冊子を活用した情報発信による景観啓発にも取り組んでおり、目標値も踏まえて達成としている。さらに、平成24年度に策定した景観計画の見直しにも着手しており、A評価とした。
施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組	平成24年度に策定した景観計画について、策定後十余年を経過しており、蓄積した制度の課題解消が必要となっている。このことから、景観審議会での意見を踏まえつつ、景観計画の見直しに取り組んでいく。 今後も、良好な景観を維持・形成するため、新築時等の届出や屋外広告物等の許可の制度を引き続き運用しつつ、必要に応じて助言や違反指導にも取り組んでいく。		
総合評価	当該施策については、順調な取組進捗を確認できたことから、事業方向性を継続し、引き続き成果指標の目標値の達成に向けて事業を推進していくこととする。		

施策評価表

施策分野	5-2 緑化・公園	
めざすまちの姿	○まちを彩り、ゆとりを与える「みどり」の整備が進み、住む人、訪れる人を魅了しているとともに、地域ニーズにあった活動の場として公園の魅力が増している。	
施策	(1) 地域の特性やニーズに応じた都市公園等の利活用の推進	
総合戦略での位置付け	○基本目標 2 子どもがいきいきと育ち、子育て世代に選ばれるまちづくり	ー

施策の方向性	○地域ニーズに合った公園整備を推進します ○公園の特性に応じた多様な主体による管理運営や利活用を推進します ○地域の特性に応じた街路樹の整備に取り組みます	
施策を構成する主な事務事業	公園維持管理事業	既設公園整備事業
	既設公園整備事業_インフラ保全	
実施した主要内容	令和4年4月に改訂した宝塚市みどりの基本計画に基づき、令和5年度から3カ年かけてパークマネジメント計画や街路樹管理計画、都市計画公園の見直しガイドライン等の策定に取り組んでいる。 公園施設長寿命化計画に基づく公園施設更新を行ったともに、遊具新設や公園リノベーション事業により、地域ニーズを反映した公園整備を行い、公園の有効活用や公園アドプト活動団体をはじめとする地域活動の活性化に努めた。	

成果指標	①	指標名								めざす方向性
		公園アドプト制度により市民団体などが管理する公園数								↑
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9
		公園	65	目標	64	65	66	67	68	69
				実績	65	65	59			
		達成状況とその理由	市民団体の高齢化などにより団体数が減、それに合わせて管理する公園数も減となり、目標値を達成しなかった。							
	②	指標名								めざす方向性
		公園で開催されるイベントの数								↑
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9
		回	146	目標	174	188	202	216	230	244
				実績	206	208	205			
		達成状況とその理由	目標値を達成したが、直近3カ年がほぼ同数となっており一定のイベント数に達したと思われる。							
	③	指標名								めざす方向性
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9
				目標						
				実績						
		達成状況とその理由								
	④	指標名								めざす方向性
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9
				目標						
				実績						
		達成状況とその理由								

担当部局 評価	B	評価の 理由	指標①は新たな市民団体の加入があったものの、全体では減となり、その影響を受けて目標値を達成しなかった。しかし、指標②は目標値を達成したため、B評価とする。
施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組	現在、パークマネジメント計画や街路樹管理計画、都市計画公園の見直しガイドライン等の策定に取り組んでいるが、令和7年度末完了を目途としているため、適正な事務執行に取り組む。 公園リノベーション事業は、公園の有効活用や地域活動の活性化が図れ、さらに公園アドプト活動団体が公募できる条件となっていることから新たな団体の加入に有効な事業であるため、今後も継続して取り組む。		
総合評価	公園整備においては、自然的要素を重視しつつ、子育て世帯の安心や景観形成に資する取組を進めることが重要であると考ええる。緑化基金については現行では用途が限定されており、その活用方法を再考し、持続可能な財源確保につなげることに検討が必要であると考ええる。また、クリーンセンターで発生するウッドチップを公園に活用することは、資源循環と環境負荷軽減の観点から有効であり、活用可能性を整理しつつ導入を検討することが望ましいと考える。		

施策評価表

施策分野	5-2 緑化・公園	
めざすまちの姿	○まちを彩り、ゆとりを与える「みどり」の整備が進み、住む人、訪れる人を魅了するとともに、地域ニーズにあった活動の場として公園の魅力が増している。	
施策	(2) 花と緑が豊かで、美しく潤いのある都市空間形成の推進	
総合戦略での位置付け	○基本目標 2 子どもがいきいきと育ち、子育て世代に選ばれるまちづくり	－

施策の方向性	○市民の緑化意識の醸成を図ります ○民有地の緑化を推進します ○地域緑化モデル地区指定団体を支援します										
施策を構成する主な事務事業	花と緑の市民活動推進事業					緑化基金活用事業					
実施した主要内容	指定した保護樹等へ保護樹等緑化推進助成金を交付し、民有地緑化を推進した。 地域緑化モデル地区指定団体へ花苗等の配布を行い、活動を支援した。 地域緑化モデル地区指定団体を対象とした花苗講習会などを開催し育成支援に取り組むとともに、安倉フラワーガーデンを市民緑化推進基地として活用し市民の緑化意識醸成に取り組んだ。										
成果指標	①	指標名									めざす方向性
		地域緑化モデル地区指定団体数									↑
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	
		団体	113	目標	115	116	119	120	120	120	
				実績	116	119	120				
		達成状況とその理由	令和3年度から実施している花苗講習会などの取り組みにより、目標値を達成した。								
	②	指標名									めざす方向性
		花苗講習会などの参加者団体数									↑
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	
		団体	0	目標	55	56	57	58	59	60	
				実績	46	31	36				
		達成状況とその理由	花苗に関する様々な講習会を開催したが、参加団体が少なく目標を達成しなかった。								
	③	指標名									めざす方向性
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	
				目標							
				実績							
		達成状況とその理由									
	④	指標名									めざす方向性
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	
				目標							
				実績							
		達成状況とその理由									

担当部局 評価	B	評価の 理由	指標①は地域緑化モデル地区の活動成果や花苗講習会などの取り組みにより、目標値を達成した。指標②は参加呼び掛けを行うが目標値を達成しなかったため、B評価とする。
施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組	花苗講習会などの開催は、地域緑化モデル地区指定団体の活動を後押し、さらに地域住民を含めて緑化意識の醸成につながると考えており、今後も継続して取り組む。 現在策定中のパークマネジメント計画において、市民等との協働により各まちづくり協議会の区域ごとに公園区を設定し、公園等の利活用、管理運営、再編などに向けた公園区計画を定めていくが、この計画を定める協議の場で新たな地域緑化モデル地区指定団体の確保に向けて取り組む。		
総合評価	当該施策については、順調な取組進捗を確認できたことから、事業方向性を継続し、引き続き成果指標の目標値の達成に向けて事業を推進していくこととする。		

施策評価表

施策分野	5-2 緑化・公園										
めざすまちの姿	○まちを彩り、ゆとりを与える「みどり」の整備が進み、住む人、訪れる人を魅了しているとともに、地域ニーズにあった活動の場として公園の魅力が増している。										
施策	(3) 緑地や里山・まち山の保全・再生の推進										
総合戦略での位置付け	○基本目標 2 子どもがいきいきと育ち、子育て世代に選ばれるまちづくり						－				
施策の方向性	○緑地や里山・まち山の保全活動を促進します ○緑地や里山・まち山の保全活動団体を支援します										
施策を構成する主な事務事業	公園維持管理事業					生物多様性戦略推進事業					
実施した主要内容	緑地や里山・まち山の保全活動団体へ資機材の提供等を行い、活動を継続的に支援した。 令和4年4月に改定した宝塚市みどりの基本計画に基づき令和5年度から3カ年かけてパークマネジメント計画の策定に取り組んでいるが、その中で桜の園の魅力向上に資する基本方針の検討に着手した。										
成果指標	①	指標名									めざす方向性
		北雲雀さずきの森緑地における環境保全団体の年間活動日数									→
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	
		日	82	目標	94	94	94	94	94	94	
				実績	96	96	92				
		達成状況とその理由	雨天中止により目標値を達成しなかった。								
	②	指標名									めざす方向性
		桜の園における環境保全団体の年間活動人数									→
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	
		人	480	目標	540	572	606	606	606	606	
				実績	604	579	514				
		達成状況とその理由	環境保全団体の高齢化に伴い、年間活動人数が減少し、目標値を達成しなかった。								
	③	指標名									めざす方向性
		丸山湿原における環境保全団体の年間活動人数									↑
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	
		人	328	目標	500	550	600	650	700	750	
				実績	506	557	667				
		達成状況とその理由	新型コロナウイルス感染症の流行が過ぎて、活動回数と参加人数が増え、年間活動人数が増加し、目標値を達成した。								
	④	指標名									めざす方向性
		松尾湿原の環境保全団体の年間活動人数									→
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	
		人	139	目標	140	140	140	140	140	140	
				実績	130	113	119				
		達成状況とその理由	環境保全への関心が高いが、活動参加者の高齢化に伴い、目標値を達成しなかった。								

担当部局 評価	B	評価の 理由	指標③は目標値を達成したが、指標①、②は活動参加者の高齢化が進み参加が難しくなったと思われ、目標値を達成しなかったことからB評価とする。
施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組	今後も継続して、緑地や里山・まち山の保全活動団体へ資機材の提供等を行い活動を支援するが、新たな活動参加者の確保が必要になってきている。 広報等により環境保全団体の活動内容のPRに努め、関心のある方々への参加促進に取り組む。		
総合評価	当該施策については、順調な取組進捗を確認できたことから、事業方向性を継続し、引き続き成果指標の目標値の達成に向けて事業を推進していくこととする。		

施策評価表

施策分野	5-3 環境保全	
めざすまちの姿	○地球温暖化の防止に向け、省エネルギー化の取組や再生可能エネルギーの導入が進んでいる。 ○自然とのふれあいや学びを通して、環境への関心が高まり、生物多様性が保全され、人の営みと自然がつながっている。	
施策	(1) 温室効果ガス排出量の削減	
総合戦略での位置付け	－	－

施策の方向性	○「COOL CHOICE」などの取組を通じて、エネルギー消費量の削減を進めます ○地域主体の太陽光発電など再生可能エネルギーの導入を推進します											
施策を構成する主な事務事業	省エネルギー促進事業					再生可能エネルギー導入推進事業						
	再生可能エネルギー基金活用事業					二酸化炭素排出抑制対策事業						
実施した主な内容	住宅や事業所の脱炭素を推進するために、国の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を活用し、太陽光発電設備・蓄電池の導入費用及び省エネルギー設備への更新費用の助成を実施した。また、住宅の太陽光発電設備については、県内市町等との連携により共同購入支援を行い、導入を促進した。市施設では、地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を活用し、高効率空調への更新、ＬＥＤ導入を行った。啓発については、「省エネチャレンジたからづか」の実施、「たからっ子エコライフノート」の小学校の授業における活用、市制70周年記念事業「地球温暖化防止講演会」及び「エコ×エネフェス」の開催などにより、子どもや家庭での省エネ実践の促進に取り組んだ。											
成果指標	①	指標名										めざす方向性
		温室効果ガス排出量（市域）										↓
		単位	現状値(R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9		
		t-CO2	581713	目標	545370	527199	509028	490857	472685	454514		
				実績	569743	613056	666602					
		達成状況とその理由	排出量算定に用いるCO2排出係数が前年度より上昇したため、温室ガス排出量は前年度実績に比べ増加した。									
	②	指標名										めざす方向性
		温室効果ガス排出量（市事務事業）										↓
		単位	現状値(R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9		
		t-CO2	20839	目標	19055	18163	17271	16379	15487	14595		
				実績	18606	20488	22641					
		達成状況とその理由	排出量算定に用いるCO2排出係数が前年度より上昇したため、温室ガス排出量は前年度実績に比べ増加した。									
	③	指標名										めざす方向性
		太陽光発電設備の累計設置件数（固定価格買取制度適用）										↑
		単位	現状値(R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9		
		件数	4843	目標	5500	6000	6500	7000	7500	8000		
				実績	5592	5916	6261					
		達成状況とその理由	設置件数は着実に増加した。太陽光発電設備等の共同購入支援事業の実施や啓発効果によるものと考えられる。									
	④	指標名										めざす方向性
		単位	現状値(R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9		
				目標								
				実績								
		達成状況とその理由										

担当部局 評価	B	評価の 理由	国の交付金を活用した地域脱炭素移行・再エネ推進助成金事業や太陽発電設備等の共同購入支援事業の実施により、住宅及び事業所への太陽光発電設備の導入及び省エネルギー設備への更新を推進することができた。また、温室効果ガス排出量は、市域及び市事務事業においてCO2排出係数が上昇したことにより、前年度より増加となり、年度目標に届かなかったため、評価はBとする。
施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組	国の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を活用した住宅及び事業所への太陽光発電設備・蓄電池の導入費用及び省エネルギー設備への更新費用の助成事業は、申請が多数あり、予算額を余すことなく活用できた。令和5年度は、設備・機器の内訳で見ると太陽光発電設備の対象が自家消費型であるため活用が少なかったが、令和6年度の実施においては、蓄電池を合わせて導入の場合は、蓄電池も助成対象とし、太陽光発電設備の導入を推進できた。市施設においては、国の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金の活用による太陽光発電設備の導入を検討したが候補が見つからなかった。 啓発については、SNSによる情報発信に力を入れていくとともに、事業者との連携による取組を進めていく必要がある。 公共施設の電力消費においては、近隣市で取り組まれている再エネ電力リバースオークションを令和7年度から導入する。		
総合評価	・温室効果ガス排出量の削減指標は、CO2排出係数などの影響が大きく、すぐに効果が現われる性質のものではないが、近年の異常気象なども踏まえ、世界的に削減取組が強化されていくことが予想されるため、今後も様々な施策により継続して取り組んでいく。		

施策評価表

施策分野	5-3 環境保全	
めざすまちの姿	○地球温暖化の防止に向け、省エネルギー化の取組や再生可能エネルギーの導入が進んでいる。 ○自然とのふれあいや学びを通して、環境への関心が高まり、生物多様性が保全され、人の営みと自然がつながっている。	
施策	(2) 関係団体等との連携による多様な生物が存在する豊かな自然環境の保全	
総合戦略での位置付け	－	－

施策の方向性	○生物多様性の保全対策を充実します ○人の営みと自然環境との調和を取りながら、生物多様性の保全意識の向上を図ります ○特定外来生物に関する情報を提供するとともに、環境保全活動を通じて防除に努めます									
施策を構成する主な事務事業	生物多様性戦略推進事業									
実施した主要内容	生物多様性の保全への関心を高め、実践を広めるために、たからづかECO講座やホテル観賞のタベ、水辺の生き物探検、オオキンケイギク駆除など、多くの啓発イベント等を実施するとともに、SNS等による情報発信を行った。オオキンケイギクの駆除については、逆瀬川にて3回実施した。また、生物・生態系については、全スポット129のうち32スポットが未調査であり、生物多様性たからづか戦略の改定に向けて残り32スポットの調査を行った。生物多様性たからづか戦略改定については、基礎調査を行いながら、環境審議会の小委員会で審議を3回行った。									
成果指標	①	指標名								めざす方向性
		環境保全活動団体数								↑
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9
		団体数	25	目標	27	28	29	30	31	32
				実績	24	25	25			
		達成状況とその理由	環境都市宝塚推進市民会議の参加団体の変更、増減はなく、目標に届かなかった。							
	②	指標名								めざす方向性
		生物多様性たからづか戦略の進捗率								↑
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9
		率	52	目標	70	80	90	100	100	100
				実績	52	52	52			
		達成状況とその理由	啓発イベントの参加者数は増加したが、目標達成又は基準年度より改善した項目の数の計は、前年度と同数であり、進捗率は横ばいである。							
	③	指標名								めざす方向性
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9
				目標						
				実績						
		達成状況とその理由								
	④	指標名								めざす方向性
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9
				目標						
				実績						
		達成状況とその理由								

担当部局 評価	B	評価の 理由	多くの啓発イベントの開催やSNSによる積極的な情報発信により、多くの市民がイベントに参加し、情報に触れる機会は提供できたが、環境保全活動団体への加入者は少なく、団体の活動自体も高齢化や世代交代が進まないことなどから、活性化しているとは言い難い状況である。環境保全活動団体数及び生物多様性たからづか戦略の進捗率は横這ばいであり、目標には届かなかったことからB評価とする。
施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組	令和7年度内に生物多様性たからづか戦略を改定する必要がある。その中で、今後の生物多様性の保全や再生に向けた、基本理念、目標、方針、施策、取組等を決めていく。合わせて、啓発活動を行い、環境保全に取り組む人を増やし、活動団体の活性化を図っていく必要がある。		
総合評価	指標②生物多様性たからづか戦略の進捗率はR2年度の目標設定時から進んでいないため、環境啓発イベントを実施するだけでなく、多様な方々に環境保全に関心を持ってもらい、継続的に活動に関わってもらえる仕組みを構築し、市内の豊かな自然環境や生物の多様性を次世代に残せるように取り組んでいく。		

施策評価表

施策分野	5-3 環境保全	
めざすまちの姿	○地球温暖化の防止に向け、省エネルギー化の取組や再生可能エネルギーの導入が進んでいる。 ○自然とのふれあいや学びを通して、環境への関心が高まり、生物多様性が保全され、人の営みと自然がつながっている。	
施策	(3) 健康に暮らせる環境の維持	
総合戦略での位置付け	－	－

施策の方向性	○公害の未然防止に努めます ○河川などの水質保全に努めます										
施策を構成する主な事務事業	公害対策事業					西谷地区生活排水対策推進事業					
	合併処理浄化槽設置整備事業										
実施した主な内容	健康被害のおそれがある光化学スモッグの原因となる光化学オキシダントや微小粒子状物質（PM2.5）等の大気汚染物質、河川や地下水等の水質及び自動車騒音の常時監視、航空機騒音測定等の実施により、市内各所で良好な環境が維持されていることを確認するとともに、公害の発生源となり得る事業場に対する指導、市民からの相談への対応等を行った。 西谷地区の水質保全のため、同地区に設置されている主に処理対象人数10人以下の合併処理浄化槽の法定維持管理を実施している者に補助金を交付し、適性な維持管理を促進した。										
成果指標	①	指標名									めざす方向性
		環境基準達成率（大気質）									↑
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	
		%	89	目標	89	89	89	89	89	89	
				実績	89	89	78				
		達成状況とその理由	浮遊粒子状物質が非達成となったことで目標値を下回った。ただし、これは令和6年4月に観測した黄砂の影響によるものであり、人為的な大気汚染ではないことが確認できた。								
	②	指標名									めざす方向性
		環境基準達成率（水質）									↑
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	
		%	96	目標	96	96	96	96	96	96	
				実績	96	96	97				
		達成状況とその理由	人為的な発生源による人の健康の保護に関する環境基準の超過は確認されず、目標値を達成することができた。								
	③	指標名									めざす方向性
		環境基準達成率（騒音）									↑
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	
		%	94	目標	94	95	95	95	95	95	
				実績	97	96	97				
		達成状況とその理由	良好な環境が維持されたことで、目標値を達成することができた。								
	④	指標名									めざす方向性
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	
				目標							
				実績							
		達成状況とその理由									

担当部局 評価	A	評価の 理由	環境基準達成に向けた監視や事業場に対する指導、市民からの相談への対応等をしっかり行った。実績値については、大気質では浮遊粒子状物質が環境基準非達成となったことで目標値を下回ったが、令和6年4月に観測した黄砂の影響で一時的に濃度が上昇したことが原因で、影響期間が短く人為的な大気汚染ではないことが確認できた。水質及び自動車騒音では目標値を達成しており、良好な環境が概ね維持されていると言えるため、Aとする。
施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組	大気質については、浮遊粒子状物質が環境基準非達成となったことで目標値を下回ったが、令和6年4月に観測した黄砂の影響で一時的に濃度が上昇したことが原因で、影響期間が短く、人為的な大気汚染ではないことが確認できた。引き続き市民に向けて注意点等を周知など健康被害の防止に努める。 水質については、人の健康に係る環境基準項目において、自然由来とみられる基準値の超過が確認されているが、周辺の利水状況から健康被害の恐れはないと推測される。今後も監視を継続し、水質の状況を把握する。河川等のPFASについては、国の基準の超過はないが、数値について注視していき、必要に応じて詳しい調査も行う必要がある。 道路騒音については、面的な評価を継続して行う。航空機騒音については、騒音に関する情報収集を行いながら、測定値が環境基準内であるかを確認していく。現在、良好な環境が維持されていると考えるが、これを維持していくには、現状の調査を継続するとともに、必要に応じて注意喚起を行っていくことが必要である。また、さらに環境を向上させていくには、国の動向や法改正の状況、他市の実施の状況を注視・研究し、対応を図っていく。 西谷地区生活排水対策推進事業については、合併処理浄化槽の老朽化が進み、法定維持管理費用の負担が高くなっていることや市南部地域の平均的な下水道料金と比べて高いことから、令和6年度においては補助額を増額した。		
総合評価	・良好な生活環境は豊かな市民生活に欠かせない基礎となる部分であるため、継続して調査・観測を行い、良好な環境を維持していく。		

施策評価表

施策分野	5-3 環境保全	
めざすまちの姿	○地球温暖化の防止に向け、省エネルギー化の取組や再生可能エネルギーの導入が進んでいる。 ○自然とのふれあいや学びを通して、環境への関心が高まり、生物多様性が保全され、人の営みと自然がつながっている。	
施策	(4) 環境保全を担う人材の育成	
総合戦略での位置付け	－	－

施策の方向性	○環境教育・学習を推進します ○環境保全活動を支援します										
施策を構成する主な事務事業	環境推進事業										
実施した主要内容	環境保全への関心を高め、環境保全活動に取り組む人を増やしていくために、環境保全活動団体・事業者が参加する環境都市宝塚推進市民会議等と協働し、環境フォーラムや、全7回のＥＣＯ講座等の啓発事業を行った。										
成果指標	①	指標名									めざす方向性
		たからづかECO講座の受講者数（累計）									↑
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	
		人	443	目標	485	505	525	545	565	585	
				実績	463	482	492				
		達成状況とその理由	幅広い環境学習により環境保全に取り組む人材を育成する全7回のたからづかECO講座コース受講者は、10名であり、目標には届かなかった。								
	②	指標名									めざす方向性
		たからづか環境マイスター登録者数									↑
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	
		人	6	目標	10	20	25	25	25	25	
				実績	6	6	6				
		達成状況とその理由	ECO講座受講修了者を対象に、環境保全や環境学習の指導者であるたからづか環境マイスター登録者を増やすこととしているが、新たな登録には至らなかった。								
	③	指標名									めざす方向性
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	
				目標							
				実績							
		達成状況とその理由									
	④	指標名									めざす方向性
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	
				目標							
				実績							
		達成状況とその理由									

担当部局 評価	B	評価の 理由	環境フォーラムについては、講演や発表など充実した内容とするとともに、122人の参加があり、環境保全の関心を高めることができた。たからづかE00講座については、コース受講者だけでなく、公開講座として実施し、261人の参加があった。このように啓発事業に対して多くの市民の参加があったが、地域の環境保全活動のリーダーとなりうるたからづか環境マイスター登録者を増やすには至らなかったため、B評価とする。
施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組	環境フォーラム及びたからづかE00講座に多くの市民の参加があるが、環境保全に取り組む人が大きく増えたり、たからづか環境マイスターの登録者が増えたりするには至っていない。環境マイスター登録制度の見直しを環境基本計画の改訂に合わせて行っていく。環境保全に関心のある人がつながり、広がるSNS等を利用した新たな仕組みづくりの検討も必要であるとする。		
総合評価	・たからづか環境マイスターを介して啓発活動を実施していく方法が効果的かを検証し、市民が気軽に環境保全活動に参加できるような方法を検討しながら、市内の豊かな自然環境や生物の多様性を次世代に残せるように取り組んでいく。 ・庁内関係部や県との連携も視野に検討を進める。		

施策評価表

施策分野	5-4 循環型社会	
めざすまちの姿	○ごみの発生を抑え、資源のリサイクルが進むなど循環型社会づくりが進んでいる	
施策	(1) ごみの減量・資源化の推進	
総合戦略での位置付け	－	－

施策の方向性	○スマートフォンアプリなどを活用した不用品の販売などごみを作らない生活の工夫や資源ごみの店頭回収など、3 Rの取組を推進します ○事業系ごみの分別徹底による資源化や廃棄食材の削減などに努め、ごみの減量化を推進します ○中間処理におけるリサイクルを推進し、焼却ごみの削減を図ります									
施策を構成する主な事務事業	清掃総務事業				ごみ減量化・資源化推進事業					
	緑のリサイクル事業									
実施した主要内容	○ごみ減量化のインセンティブなどを目的として、一般廃棄物減量等推進審議会を3回開催し、事業系ごみ手数料の見直し（値上げ）の答申を受けるに至った。 ○リユース事業者と協定を締結し、市民自らが不要になった粗大ごみ等をリユースできる仕組みの構築を行った。									
成果指標	①	指標名								めざす方向性
		市民一人1日当たりの燃やすごみ平均排出量（家庭系ごみ）								↓
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9
		g/人・日	412.6	目標	412.1	411.9	411.7	411.5	411.2	
				実績	396.4	383.7	371.8			
		達成状況とその理由	市民意識の高揚により減少傾向。							
	②	指標名								めざす方向性
		事業系燃やすごみ排出量								↓
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9
		t	14363	目標	14169	14072	13975	13878	13781	
				実績	14312	14430	14304			
		達成状況とその理由	経済活動の影響が大きく未達成。							
	③	指標名								めざす方向性
		焼却ごみ量								↓
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9
		t	53232	目標	52853	52663	52473	52284	52094	
				実績	51184	48765	48059			
		達成状況とその理由	事業系増も家庭系減により減少傾向。							
	④	指標名								めざす方向性
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9
				目標						
				実績						
		達成状況とその理由								

担当部局 評価	B	評価の 理由	事業系のごみ排出量は増加傾向にあるが、家庭系の燃やすごみ排出量は市民意識の高まりにより指標は目標を大きく下回ることができ、結果として焼却ごみ量は減少している。 評価としては、事業系ごみが目標達成できていないことから「B」としている。 今後は事業系ごみの減量が達成できるよう施策展開していく。
施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組	・ごみ減量化に向けての啓発方法は、ホームページ・SNS・スマホアプリを活用する方策など現在社会にマッチした方法を検討していく必要がある。 ・事業系燃やすごみが増加してきていることから、分別等の啓発が必要だが、そもそも市内事業所の把握が困難であることや景気など経済活動をコントロールできないことから、どのような啓発や対応が有効か検討していく。		
総合評価	・ごみの減量はごみ焼却施設の長寿命化により市民の負担軽減にもつながる取組であるため、継続的に啓発、推進を行っていく。		

施策評価表

施策分野	5-4 循環型社会										
めざすまちの姿	○ごみの発生を抑え、資源のリサイクルが進むなど循環型社会づくりが進んでいる										
施策	(2) 安全で安定したごみ処理										
総合戦略での位置付け	－					－					
施策の方向性	○計画的に修繕するなど、ごみ処理施設を適切に維持管理します ○事業の進捗状況などの情報を発信し、市民の信頼を得ながら、エネルギー回収推進施設（ごみ焼却炉）等の新ごみ処理施設を整備します ○高齢化により増える一人暮らしでごみ出しが難しい高齢世帯に対応した福祉収集に取り組みます										
施策を構成する主な事務事業	し尿処理事業					塵芥処理事業					
	新ごみ処理施設整備事業					し尿収集事業					
実施した主要内容	○仮設リサイクル施設の建設は予定どおり完了し、令和6年度から稼働している。 ○きずな収集対象世帯の増に対応するため、直営収集していた紙布収集を全て民間委託とし、5班10名体制（＋班長1名）から、6班12名体制（＋班長2名）に拡充した。										
成果指標	①	指標名									めざす方向性
		施設の緊急停止回数									↓
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	
		回	0	目標	0	0	0	0	0		
				実績	0	0	0				
		達成状況とその理由	適切な維持管理により緊急停止することがなかった								
	②	指標名									めざす方向性
		エネルギー回収推進施設（ごみ焼却炉）の整備工事進捗率									↑
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	
		%	－	目標	0	0	1	14	49		
				実績	0	0	2				
		達成状況とその理由	スケジュールどおり実施できた								
	③	指標名									めざす方向性
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	
				目標							
				実績							
		達成状況とその理由									
	④	指標名									めざす方向性
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	
				目標							
				実績							
		達成状況とその理由									

担当部局 評価	A	評価の 理由	・ごみ処理施設については、日常点検や定期点検を的確に実施し、計画修繕や適時の修繕、整備を実施したため、施設を停止することなく安定的に運転し、市内で発生したごみを安定的かつ衛生的に処理し、衛生的な生活環境を維持することができた。 - また、し尿処理については、し尿処理施設の解体により、外部処理委託を行い、適正に処理できている。 ・新ごみ処理施設については、ほぼ計画通り事業の進捗ができており、予定通り令和6年度から仮設リサイクル施設が稼働している。
施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組			・新ごみ処理施設整備については、引き続き計画どおり事業が進捗するよう事業者との協議を密にするなどスケジュールを管理する。また、新施設が稼働するまでの間は、現施設が緊急停止等することがないように適切に管理する。 ・きずな収集については、対象世帯の増などを適切に把握し、対応していく。
総合評価			・ごみ処理施設の運用は、市民が衛生的に生活できる基礎となるものであるため、引き続き安全、安定運用に務める。 ・新ごみ処理施設整備については事計画通りに工事が完了するよう取り組んでいく。

施策評価表

施策分野	5-5 都市美化・環境衛生										
めざすまちの姿	○まちの美化活動により、きれいで快適な生活環境が保たれている。										
施策	(1) 市民との協働による美化活動の推進										
総合戦略での位置付け	－					－					
施策の方向性	○まちを美しくするという市民意識の維持・向上に努めます ○ごみの不法投棄防止対策を進めます										
施策を構成する主な事務事業	都市美化推進事業					不法投棄未然防止事業					
	都市美化推進事業										
実施した主要内容	春秋の2回、「宝塚を美しくする市民運動」において一斉清掃を実施し、コロナ禍前には及ばないものの400を超える団体の参加があった。 不法投棄防止については、西谷地区において監視カメラを1台増設した。また、西谷地区不法投棄未然防止協議会及び兵庫県と連携し、監視パトロールや不法投棄物の撤去を行った。 市民からの苦情のあった管理不十分な空き地等の所有者に対し、適正管理の啓発を行った。										
成果指標	①	指標名									めざす方向性
		「宝塚を美しくする市民運動」参加団体数									↑
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	
		団体数	64	目標	80	400	430	435	440	445	
				実績	356	423	444				
		達成状況とその理由	令和5年度以降の目標を令和4年度の実績に基づき設定したが、目標を超える団体数の参加があった。								
	②	指標名									めざす方向性
		不法投棄された家電リサイクル対象廃棄物の回収件数									↓
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	
		件数	28	目標	18	16	14	12	10	8	
				実績	21	14	6				
		達成状況とその理由	啓発活動の推進や関係機関と連携、監視カメラの増設により、推移としては件数は着実に減少しており、目標を達成することができた。								
	③	指標名									めざす方向性
		「宝塚を美しくする市民運動」でのごみ回収量									↑
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	
		t	21.7	目標	40	150	155	160	165	170	
				実績	117	129	103				
		達成状況とその理由	参加団体数については増加したが、ごみ回収量は減少し、目標に届かなかった。								
	④	指標名									めざす方向性
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	
				目標							
				実績							
		達成状況とその理由									

担当部局 評価	B	評価の 理由	不法投棄された家電リサイクル対象廃棄物の回収件数は、目標を達成した。「宝塚を美しくする市民運動」の一斉清掃の参加団体数についても目標を達成した。しかし、ごみの回収量については、目標に届かなかったためB評価とする。
施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組	宝塚を美しくする市民運動」については、令和4年度に、春秋の一斉清掃が再開され、以降も再定着している。参加団体数は、コロナ禍以前の数には戻っていないものの、令和4年度以降、増えている。しかし、ごみ回収量は、前年度より減少するとともに、目標も下回った。より多くの団体、より多くの人に参加してもらうため、共催者である宝塚市自治会連合会及び宝塚市自治会ネットワーク会議と協議を行っていく。 不法投棄については、減少しているものの、未だ一部地域に不法投棄が存在する。監視カメラの設置が効果的であり、令和6年度も1台増設したが、さらなる設置も検討していく。あわせて、西谷地区不法投棄未然防止協議会及び兵庫県とそれを踏引き続き連携するとともに、市職員によるパトロールも行っていく。		
総合評価	・「宝塚を美しくする市民運動」でのごみ回収量は、市内のごみ量が減ったため減少したとも考えられ、担当部評価は妥当と考える。 ・「宝塚を美しくする市民運動」は、活動が十分に認知されていないことも考えられるため、市民一人一人に情報が伝わるよう情報発信の方法を検討していく必要がある。		

施策評価表

施策分野	5-5 都市美化・環境衛生									
めざすまちの姿	○まちの美化活動により、きれいで快適な生活環境が保たれている。									
施策	(2) 環境衛生の維持									
総合戦略での位置付け	－				－					
施策の方向性	○ペットの適正管理を進めます ○害虫発生の未然防止を図ります ○墓地の長期的・安定的な供給を推進します									
施策を構成する主な事務事業	西山霊園管理事業				火葬場管理事業					
	長尾山霊園管理事業				ペットとの共生都市推進事業					
	畜犬対策事業				害虫駆除衛生事業					
	宝塚すみれ墓苑管理事業									
実施した主要内容	狂犬病予防として、畜犬の登録申請受付、鑑札の交付、予防接種の推奨を行った。 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費等の助成を実施するとともに、ペットの飼養に関する啓発、苦情相談などを行った。 害虫発生の未然防止のため、公共用水路への薬剤散布、共用下水管への薬剤散布等の業務を実施した。 令和5年度に引き続き、宝塚すみれ墓苑の樹木葬式墓所の貸出、長尾山霊園の市外居住者への貸出をPRの上、行った。 西山霊園の墓参者用駐車場を整備した。									
成果指標	①	指標名								めざす方向性
		狂犬病予防注射接種率								↑
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9
		%	77	目標	78	78	78	79	79	79
				実績	74	75	76			
		達成状況とその理由	西谷地区を除き集合注射を実施しなかったが、集合注射を実施していた令和2年度以前の接種率と同程度の率である。畜犬の死亡届等を提出していない場合もあり、実際の接種率は実績より高い。							
	②	指標名								めざす方向性
		飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費助成金に係る手術実施数（累計）								↑
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9
		件数	119	目標	115	110	105	100	95	90
				実績	43	28	37			
		達成状況とその理由	令和6年度の手術実施数は37であり、昨年度の28より増加したが、手術申請に取り組む人が少ない地域もあり、目標とは乖離している。							
	③	指標名								めざす方向性
		市営霊園使用者数								↑
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9
		人	9668	目標	9943	9981	10110	10194	10278	10362
				実績	9936	10028	10281			
		達成状況とその理由	長尾山霊園については、令和5年度に市外居住者への貸出を開始したことにより、令和6年度も貸出が増えている。宝塚すみれ墓苑の貸出については、一般墓所を除き、年度目標を超えている。							
	④	指標名								めざす方向性
		単位	現状値 (R2)		R4	R5	R6	R7	R8	R9
				目標						
				実績						
		達成状況とその理由								

担当部局 評価	B	評価の 理由	市営霊園使用者数は目標に到達したが、狂犬病予防注射接種率及び飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費助成金に係る手術実施数については目標に達しなかったため、B評価とする。
施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組	畜犬対策事業については、畜犬登録制度等の改正に応じて、畜犬システム（本市独自システム）の改修等を行う。 飼い主のいない猫やペットによるトラブルを減らしていくために、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費等の助成の利用の促進、ペットの飼養に関する啓発、苦情相談などを継続的に行っていく。 害虫駆除業務については、害虫駆除相談に対応しながら、計画的、継続的に実施していく。 墓地の長期的・安定的な供給に向けては、長尾山霊園は施設・設備の老朽化対応を図っていく。宝塚すみれ墓苑は、令和5年度に貸出を開始した樹木葬式墓所について、今一度、現地説明会や情報発信によりPRを行い、貸出を増やしていく。		
総合評価	・飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費助成金に係る手術実施数については、飼い主のいない猫の個体数が相当減少していると考えられるため、担当部評価は妥当と考える。 ・市営霊園については、変化するニーズに応えた形で貸し出し数を増加の取組を推進していく。		